



TITLE:

京大東アジアセンターニューズレ ター 第622号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター

CITATION:

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター. 京大東アジアセン
ターニューズレター 第622号. 京大東アジアセンターニューズレター
2016, 622

ISSUE DATE:

2016-05-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/214416>

RIGHT:

2016 年 5 月 30 日発行 第 622 号

CONTENTS

「中国経済研究会」のお知らせ.....	2
中国の再生可能エネルギー政策 福喜多俊夫	3
読後雑感：2016 年 第 12 回 小島正憲.....	9
【中国経済最新統計】.....	15



「中国経済研究会」のお知らせ

2016年度第3回（通算第57回）の中国経済研究会は下記の要領で開催することになりましたので、ご案内いたします。大勢の方のご参加をお待ちしております。

記

時 間： 2016 年 6 月 21 日（火） 16:30－18：00

場 所： 京都大学吉田キャンパス・法経済学部東館地下1階 みずほホール AB

テーマ： 「中国は先進国になれるか」

報告者： 喜多 忠文(同志社大学大学院商学研究科客員教授)

注：本研究会は原則として授業期間中の毎月第3火曜日に行いますが、講師の都合等により変更する場合があります。2016度における開催(予定)日は以下の通りです。

前期：4月19日（火）、5月17日（火）、**6月21日（火）**、7月19日（火）

後期：10月18日（火）、11月15日（火）、12月20（火）、1月17日（火）

(この研究会に関するお問い合わせは劉徳強 (liu@econ.kyoto-u.ac.jp) までお願いします。なお、研究会終了後、有志による懇親会が予定されています。)



中国の再生可能エネルギー政策

社団法人大阪能率協会常任理事、順利包装集団董事（在上海）

福喜多技術士事務所所長、東アジアセンター外部研究員

福喜多俊夫

中国の再生可能エネルギー政策

中国国家電網公司はこのほど、「国家電網公司の新エネルギー発展促進白書（2016）を発表した。中国の新エネルギーは 2015 年も急成長を維持し、風力発電および太陽光発電の新規設備容量が共に記録を更新した。風力発電設備容量は 4 年連続で世界一をキープし、太陽光発電設備容量は初めてドイツを抜き世界一になった。

中国の原子力発電についてはこれまで何度か調べたが、再生可能エネルギーでも世界のトップレベルにあるようで、第一財經日報（1 月 28 日付）は原子力発電大手の中国広核集団が原子力を用いないクリーンな発電事業へ投資の比重を移していると報じている。

中国の再生可能エネルギー政策について、中国の報道をもとに整理してみた。

1. 中国のエネルギー資源と新エネルギー発展の概要

中国はエネルギー資源に比較的恵まれており、2013 年時点の石炭採掘可能確認埋蔵量は 1,145 億トンで、米国、ロシアに次いで世界第 3 位である。また、石油の確認埋蔵量は約 25 億トン、天然ガスの確認埋蔵量は約 3.27 兆 m³ で、全包蔵水力は 4 億 4,600 万 kW と、世界最大の包蔵水力を有している。しかし、石炭の約 81%は北部の山西省、新疆ウイグル、内蒙古、陝西地区に、石油と天然ガスの約 52%は西部に、水力の潜在量の約 70%は南西部に偏在しており、華東、華中、華南の都市部や工業地帯はエネルギー不足に悩まされている。また、石炭鉱山は劣悪な採炭条件で操業するところが多く事故も多発している。政府は落後炭鉱の淘汰を本気で進める姿勢をとっている。第 13 次 5 年計画ではエネルギー資源の確保と環境保護、失業対策を織り込んだ「供給側構造改革」をエネルギー面でも強力に推し進める考えで、総エネルギー消費の約 75%を占める石炭から、非化石エネルギーやクリーンエネルギーへのエネルギー転換を進めようとしている。

人民網（3 月 15 日）によれば、中国の新エネルギー発展状況は、風力発電・

太陽光発電設備容量は 2015 年末時点で 1 億 7000 万 kW に達し、世界の 4 分の 1 以上を占めた。国家电网会社が管理する風力発電設備容量は 1 億 2830 万 kW、太陽光発電設備容量は 4058 万 kW に達し、国家电网の新エネ発電規模は世界最大となっている。中国の 2015 年の風力発電量は、前年比 16%増の 1851 億 kWh、太陽光は 64%増の 383 億 kWh となった。

国家电网会社の第 13 次 5 カ年計画送電発展計画によると、全国の新エネ発電設備容量は 2020 年に 4 億 1000 万 kW に達する予定。うち風力発電は 2 億 4000 万 kW、太陽光発電は 1 億 5000 万 kW となっている。

人民網（5 月 13 日）によれば、北京は今後、「緑電入京（グリーン電力を北京に送電）」計画に取り組み、周辺地域の再生可能エネルギー拠点の建設を支持し、北京・河北・山西・内モンゴルのグリーン電力エリア市場の設立を推進する。また、外部からの送電量を、2020 年までに年間 100 億 kwh に引き上げる。新エネの利用を促進するため、北京は全市で太陽エネルギー、地熱エネルギーなど再生可能エネルギーの応用を拡大し、第 13 次五カ年計画（2016-20 年）末までに、再生可能エネルギーの消費量を標準石炭換算で 620 万トンとするという。

2. 再生可能エネルギー発展状況

1) 太陽光発電

2014 年末の統計によれば、世界の太陽光発電容量はドイツが世界最大の 3800 万 kW、2 位が中国で 2800 万 kW、3 位が日本で 2300 万 kW である。太陽光発電の業界団体である PV Market Alliance は 1 月 18 日、2015 年の世界の太陽光発電設備設置推定値を発表し、中国の 2015 年の導入量は少なくとも 1500 万 kW、中国の累積導入量は 4300 万 kW となり、ドイツを抜いて世界最大になったとみられる。ドイツの導入量は縮小しており約 140 万 kW、日本は約 1000 万 kW 程度とみられている。

中国は国の支援を受けて、今後も急ピッチの整備が続く見込みで、2020 年には 1 億 kW、2030 年には 4 億 kW を超えると予測されている。

中国の太陽光関連設備メーカーは過剰投資で混乱を極めたが、政府の指導下、業績が持ち直し、2015 年通年の生産額は 2000 億人民元を超えた模様。太陽光発電協会の資料によれば、太陽光発電関連企業の投資額は、2015 年 1～8 月の累計で前年同期比 39.4%増の 684 億 7000 万元に拡大した。中国の場合、大規模型と分散型の比率は大規模型が 70%を占めている。

中国の主な太陽光発電プロジェクトは青海、チベット、甘粛、内モンゴル、

黒竜江、陝西、新疆ウイグル、四川に集中しており、砂漠で日照時間の長い場所が選ばれている。

2) 風力発電

中国の風力発電は急成長しており、2015 年末段階で年間約 1.3 億 kW に達する。これは世界の風力発電能力の 3 分の 1 を占める。過去 10 年間で中国の発電能力は 10 倍に拡大した。大規模風力発電基地の建設費は下がり、タービン技術も向上した。世界のタービンメーカー大手 10 社のうち 3 社が中国企業である。風力発電は政策的にも今後も急速な成長を続ける可能性がある。李克強首相は「中国は 2030 年までに、GDP1 ドルあたりの二酸化炭素の排出量を 2005 年比の 60～65%に引き下げなければならない。この目標を達成するためには風力発電プロジェクトの推進は不可欠」と述べている。中国には風力発電に適した強い風が吹く地域が多くある。これらの地域は人が殆ど住んでいなくて景観問題も起こらない。しかし、この人が住んでいない遠隔地が最適立地であるというところに大きな課題がある。風力発電の最適地は強い風の吹く、北西部、西部の甘粛、新疆ウイグル、内蒙古であるが、電力の消費地である東部沿海部からは遥か離れている。最大の問題は風力発電機の設置に電力網の拡張が追い付かないことで、国家エネルギー局によれば、2015 年第 1 四半期に発電された電力の 19%が無駄になったという。風力発電は風が吹かなければ発電出来ない。全国の風力発電機が送電網で連結されてこそ、安定電源としての機能が発揮できる。

もうひとつの問題は、発電施設も送電網もすべて国有で市場原理が働かないことである。共産党中央委員会と国務院は 2015 年 5 月、「電力システム徹底改革のさらなる推進に関する指針」を発表した。競争原理をさらに導入し、電力価格決定メカニズムの現状を根本的に改革することを目指している。しかし、具体策は明らかになっていない。

3) 水力発電

水力発電は古くからあるエネルギー源で新エネルギーとはいえないが、現在、再生可能エネルギーの柱になっており、再生可能エネルギー全体の約 80%を占めている。中国は水力資源が豊富で、全包蔵水力は 4 億 4,600 万 kW と、世界最大の包蔵水力を有している。2014 年の年間発電量は約 2 兆 5000 億 kWh に達する。

改革開放以来、中国の水力発電は急速に発展を遂げ、三峡ダム等の大型水力

発電プロジェクトを続々と建設、運転した。2014 年末時点では水力発電設備容量は 3 億 kW に達し、世界最大の水力発電国となった。中国の水力発電資源は非常に豊富であるが、西部地域に偏在している。設備容量全体の 81.4%が西部に、残りの 13.7%が中部、4.9%が東部にある。このため、西部の水力発電所で作られた電力を東部に供給する「西電東送」が一般的になっている。現在、東部地区と中部地区に加えて、西部地区の広西や重慶、貴州の水力資源開発は基本的に終了しているが、雲南や四川、青海、チベットではまだ開発余地がある。

水力発電においても送電網との接続が大きな問題となっており、三峡ダムのような中央政府が管理する発電所からの送電は国家电网の送電網を使用することが可能であるが、地方の小規模ダムは国家电网の送電容量が空いている時以外は利用できず、地方で余った電力は文字通り水に流されることになる。

4) その他のエネルギー

①原子力発電所、「海に浮かぶ原子力発電所」

中国には運転中の原子炉が 19 基、建設中が 29 基、計画が 225 基もある。2050 年には 400 基の原子炉が建設され、発電容量は 4 億 kW を超える見込みだ。中国政府は様々な電力ニーズに対応するため「海に浮かぶ原子力発電所」の建設を計画している。原子力空母や原子力潜水艦が就航しているのであるから、海上原子力発電所も実現可能だ。中国広核集団の計画では 2020 年までに 20 万 kW の小型原子炉を積んだ「海上発電所」の建設を計画している。

②洋上風力発電所

第一財經日報（1 月 28 日付）によれば、原子力発電大手の中国広核集団は 1 月 28 日、江蘇省南通市如東県で、6 基の風力発電機を稼働させ、送電を開始した。設備総容量 15 万 kW の洋上風力発電ファームのモデル事業である。

③風力・太陽光・水力相互補完発電所

人民網（3 月 28 日付）は、中国で 3 番目の規模を誇る水力発電拠点である雅礱江流域で、中国初の全流域「風力・太陽光・水力相互補完」クリーンエネルギーモデル拠点が建設されると報じた。雅礱江の水力発電所群の調節機能を十分に利用し、風力発電と太陽光発電の不安定性を補い、3 種のクリーンエネルギー利用の改善と外部への送電を実現する。雅礱江流域水電開発有限公司が発表した情報によると、モデル拠点の計画中の設備容量は 6000 万 kW に達し、世界最大の「風力・太陽光・水力相互補完」クリーンエネルギーモデル拠点になる見通し。初歩的計画によると、雅礱江流域の約 80 カ所に風力発電所（設

備容量 1261 万 kW) と太陽光発電所は約 25 カ所 (設備容量 1816 万 kW) を設置し、年間発電量は約 519 億 kWh となる。雨季は水力発電量を増やし、乾季は風力・太陽光発電を優先的に送電する。

④地熱発電、地熱都市群

中国最大の地熱発電所であるチベット自治区羊八井地熱発電所は中国国内で唯一商業運転している地熱発電所で、渇水期に低下する水力発電能力を補っている。

人民網 (3 月 1 日付) によると、北京・天津・河北地帯の浅層地熱エネルギーは標準石炭換算で毎年 9200 万トンに相当する。ヒートポンプを使い浅層地熱エネルギーを開発・利用すれば、建築物の夏季冷房面積は 35 億平方メートル、冬季の暖房は 29 億平方メートルが可能となる。北京・天津・河北では現在、8500 万平方メートルの冷暖房面積を実用化している。

⑤バイオマス発電

国家能源局と財政部、農業部は 2011 年 7 月 9 日、北京で開催された「全国農村エネルギー活動会議」において、2015 年までにバイオマス発電設備容量を 1,300 万 kW にすると発表した。これは、中国電力企業連合会の「電力工業第十二次 5 カ年計画研究報告書」(2010 年末に発表) において設定された目標値である 300 万 kW の 4 倍になる。2010 年末時点での設備容量は 450 万 kW、2015 年には 1000 万 kW に達した模様。

⑥「北東アジア電力網」

中国網 (3 月 31 日付) は、中国国家電網公司、韓国電力公司、日本のソフトバンクグループ、ロシアのグリッドは 30 日、北京で「北東アジア電力網での協力覚書」に署名したと報じた。当日開催された「2016 グローバルエネルギーネットワーク大会」で説明されたものによると、「北東アジア電力網」とは、モンゴル、中国の東北と河北、ロシアの極東地区にある再生可能エネルギー基地を、中国の河北省や日韓など電気使用の多い地域と連結させ、再生可能エネルギーの大規模開発の利用を実現させるもの。

国境を越えて使用されることで大電力網の能力が最大限に発揮でき、地域の電力取引やエネルギー面での合作を促進させるという。

3. 中国の新エネルギー政策の難しさ

2015 年 4 月に国家發展改革委員会能源研究所と能源基金会は「エネルギー政策のシナリオ」を公表した。シナリオでは風力、太陽光等の再生可能エネルギーを大幅導入することで、化石燃料依存のエネルギー政策からの脱却を目指

し、2011年には22%であった電源構成に占める再生可能エネルギーの割合を2030年には53%、2050年には86%まで引き上げる野心的な計画が記されている。

シナリオでは現在発電の中心となっている石炭火力発電を段階的に再生可能エネルギーの調整電源的役割に持っていこうとしており、先に述べた「風力・太陽光・水力相互補完」の考え方と同様、再生可能エネルギーを電源の主体としようとするものである。

再生可能エネルギーを電源の主体とするためには電力供給体制の整備が必要であるが、これが現実には難しい。中国では2002年の発・送電分離改革の結果、5大発電会社（中国華能集团公司、中国大唐集团公司、中国華電集团公司、中国国電集团公司、中国電力投資集团公司）と2大送配電会社（国家电网公司、南方電網有限責任公司）による電力供給体制となった。発・送電分離により発電側にはある程度の競争原理が働くようになった。これは5大発電会社以外に中央政府が管理する国有企業や地方政府が保有する発電会社、民間、外資など約3800社の発電会社が存在するためである。（ただし、500万kW以上の設備を有する事業者は20社足らず）一方、送配電会社は、南方電網が南部の5省・区（広東省、広西チワン族自治区、貴州省、雲南省、海南省）を管轄し、国家电网が残りの省・区・市を管轄している。（陝西省および内蒙古自治区西部には国家电网に属さない省政府が保有する総配電会社がある）基本的に2社による独占経営の体質は変わらず、電力法によって「ひとつの電気供給地域に電力供給者一社を設立可能」という他の電力供給業者が参入できない障壁が作られているため電力供給体制整備の足取りは重い。

また、中国では系統売電価格（発電所から電網への販売価格）と小売電力料金は政府によって決められ、発電側の努力は小売電力料金には反映されない。このため、生産性を高める努力はなおざりにされることになる。

中国政府も電力供給体制改革の必要性は重々承知しており、共産党中央委員会と国務院は2015年5月、「電力システム徹底改革のさらなる推進に関する指針」を発表した。競争原理をさらに導入し、電力価格決定メカニズムの現状を根本的に改革することを目指している。第13次5カ年計画に基づき、具体策がうちだされるのを注視したい。

以上

読後雑感：2016 年 第 12 回

20.MAY.16

アジア・アパレルものづくりネットワーク代表理事
株式会社小島衣料オーナー
東アジアセンター外部研究員
小島正憲

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 「下流老人と幸福老人」 | 2. 「老いの可能性」 |
| 3. 「日野原重明先生の生き方教室」 | 4. 「老前整理」 |
| 5. 「恰好いい老い方、みっともない老い方」 | 6. 「夫婦という病」 |

1. 「下流老人と幸福老人」 三浦展著 光文社新書 2016 年 3 月 20 日

副題：「資産がなくても幸福な人 資産があっても不幸な人」 帯の言葉：「“お金がなくても幸せ” の条件」

この本は、結構、面白い本である。三浦氏は、徹底したアンケート調査の実施の上、昨今の「老後破産」騒動について、「老後の恐怖を煽るのはよくない」と書き、「“下流幸福老人” は、自分だけでなく他人の幸福を考える人、“下流不幸老人” は、お金が欲しいと言い続ける人、“上流不幸老人” は夫婦や子供との関係が悪い人でした」、「世の中、お金がすべてではない。お金がそんなになくても幸せな“幸福老人”を増やさないと、日本の将来は暗くなり、心がささくれ立つばかりだ」と結論付けている。この主張には、私も同感できる。

三浦氏は調査の結果、「65 歳以上の高齢者の平均年収は 260 万円」、「「資産 500 万円以下が“下流老人”、500 万円～2000 万円未満が“中流老人”、2000 万円以上が“上流老人”」と書き、「“生老病死”の不安に格差はない。いくらお金があっても、最後は死ぬ。それだけは平等だ」、「資産があってもなくても、かかる医療費は同じということは不平等」、「老人の格差を是正するとしたら、富裕層の不動産などの資産への課税が有効であろう」と述べている。

三浦氏は、「資産があっても幸福でない人は、恋愛、夫婦、子供といった家族面での後悔が多い。だから“家族という病”といった種類の本が売れるのであろう」と書いている。これについては私も気がついてたことであるが、最近では、「夫婦という病」という本も出て、この傾向をさらに強くしているようだ。また「年収と幸福度が比例する」とはいえ、年収が低い老人でも幸福である

人は過半数いる。200万円～300万円未満の老人でもほぼ2／3は幸せである。そしてこの年収の老人が実数では最も多い。最も人口が多い年収階層の老人の2／3が幸せであると感じられる社会は、今のところは、そんなに悪い社会ではないと言えるのだろう」と書いている。もっとも、これは年金制度が崩壊しないということを前提として、はじめて成り立つ議論である。

三浦氏は男性老人について、「男性は交際している異性がない人で幸せな人は32%だが、交際している異性がいる人は58%が幸せである。ガールフレンドがいることで格段に幸福度が上がる。ガールフレンドは、子供や孫がいることよりも、隣近所の知人の数が多いことより遙かに幸福度が上がるのだ！なるほど、だから渡辺淳一の小説が売れるわけだ。何歳のどんな異性とつきあっているかは質問していないが、とにかく男性は異性とつきあっていないと途端に幸福度が下がるのだ」と書いている。巷には老人の若返り法として、異性と付き合うことを勧める本が多いが、本書はそれを実証している。

2. 「老いの可能性」 野村克也著 海竜社 2016年3月12日

副題：「老いて学べば、即ち死して朽ちず」 帯の言葉：「老いの特権を生かす！ 知将が提言する老いの哲学」

本書はプロ野球界で華々しい活躍をし、その後監督として知将と崇められた、野村克也氏の著書である。反面、野村氏は、その生い立ちやプレースタイル、私生活など、話題豊富な人でもあった。そのような経歴を持つ野村氏が、80歳を機に、「老いの可能性」について述べたのが本書である。本書には、なるほどと頷かせる部分もあるし、同類他書と変わらないような平凡な言葉も多く並んでいる。以下に、私が頷いた部分を摘出しておく。

- ・成功した人ほど引退のタイミングは難しい。しかし、社会を継続するには新陳代謝が必要である。
- ・老後は人生の消化試合ではない。これからが天王山であると心得よ。
- ・厳しさは人間を成長させる。年をとってからの苦労は買ってでもせよ。
- ・高齢者は、発想力やひらめきが優れている。創造性は、年齢とは関係のない能力である。
- ・プラス思考には落とし穴がある。マイナス思考を生かす知恵を身につけたい。
- ・ケチな人間は人情の機微を理解できない。ケチとは自己中心的な人間のなせる業である。
- ・人間にとって最大の悪は何であるか。それは「鈍感」である。
- ・運を呼びこめるかどうかは本人次第。幸運の女神は、準備が整ったものだけ

に微笑む。

3. 「日野原重明先生の生き方教室」 聞き手：大西康之 日経 BP 社 2016年5月6日

帯の言葉：「“疲れたなどと言っている暇はないのです” 百歳を超えても働くためのバイブル」

私は今まで、日野原先生のことを単なる超高齢の医者としてしか認識していなかった。それは日野原先生のことを深く知らなかったからである。本書で日野原先生の事績を読んで、多くの人が日野原先生を崇める訳を知ることができた。まず、この本で、日野原先生があのだ「よど号事件」の人質だったことを知り、驚いた。そしてその「よど号事件」の体験が日野原先生のその後の人生を決定したという章を読み、深く感じるころがあった。本書には、「“よど号事件”をきっかけに、当時58歳だった日野原先生は、医師としての名声を求める生き方をきっぱりやめた。自分のためではなく、他人のため、世の中のために人生をささげようと決意したのである」と書いてある。

また本書では、日野原先生と笹川良一氏との関係についても、「ライフ・プランニング・センターの活動を全国規模にしたかった日野原先生は、日本船舶振興会（現日本財団）の会長だった笹川良一氏から多額の資金援助を受けた。戦前は右翼の大立者と言われ、A級戦犯の疑いをかけられたこともある笹川氏には敵も多く、そんな彼に近づけば良くない風評が立つことを、日野原先生は百も承知だった。それでも“今は他人のために尽くされている立派な方だから”と言い、喜んで支援を受けたのだ」と書いている。

さらに日野原先生は、「私は今回の安保関連法案には反対です。日本国憲法と正反対のことをしているからです」と言い、「聖書には“だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬も向けなさい”（マタイによる福音書）」という耐える精神が書いてある。殴られても殴り返さずに耐えるという日本の憲法も、聖書と同じ、耐える精神が盛り込まれています。憲法9条には、“戦争の放棄”“戦力の不保持”“交戦権の否認”が明記されています。われわれはこの“非戦の精神”を大事にしなければならない」と主張している。

日野原先生は、人間ドックやホスピスの創設、「新老人の会」の立ち上げなどに尽力し、国民医療費の今後の激増に対しても、「医療界だけではなく、社会全体で考えるべき問題だと思います。まずムダな医療をやめることです。医療を営業と考える医者は延命治療に夢中になりがちです。患者や家族には“長生きは良いことだ”という思い込みがあり、医者も延命した方がもうかるからです。しかしチューブにつながれて最期を迎えることが患者や家族にとって本

当の幸せでしょうか。社会的に見れば膨大なコストがかかっている」と書き、儲け主義で延命治療を施す医者を批判している。医療界の重鎮である日野原先生のこの言葉には重みがある。

4. 「老前整理」 坂岡洋子著 新潮文庫 2016年5月1日

副題：「捨てれば心も暮らしも軽くなる」 帯の言葉：「気力、体力のあるうちに、あふれるモノを片付ける！」

著者の坂岡氏は、「片付けには気力・体力・判断力が欠かせない」と書き、高齢者になると体力がなくなるし、モノへの愛着心が強くなり、なかなか身辺整理ができなくなるので、「中高年のときから、片付ける習慣を付けるように」と言う。私は実母（99歳）が亡くなったら、さっさと引っ越すつもりなので、現在、片付け進行中である。たしかに坂岡氏の言うように、部屋の中の片付けが進んでいくと、心もすっきりしてくる。坂岡氏は、「片付けは、それまでの人生の棚卸しをして、棚をすっきりと整理する“シンプル化”の実践でもあります。シンプル化には、モノだけでなく、長年のもつれた人間関係や、お金、時間、パートナーの問題も含まれます。人生の節目でこれらの問題が、“片付け”ば、どれほどストレスが減ると思いますか？」と書いている。また片岡氏は、「捨てるにはルールと勇気が必要です」と書き、具体的な指南をしている。このルール化は参考になった。

5. 「恰好いい老い方、みっともない老い方」 川北義則著 PHP 研究所 2016年4月18日

帯の言葉：「貯金なんて残して死ぬな」

筆者の川北氏は、私より一回り上の歳である。本書ではその世代からの、団塊の世代への苦言や提言が多い。納得のいくものもあり、また屁理屈のようなものもあるが、あまり今後の参考になるようなものはなかった。川北氏は、「高齢者たちは平均して、2000～3000万円のお金を残して死ぬ。それはもったいないので、使ってしまえ」と書いている。本書で川北氏は、高齢者の貯金の使い道をあれこれと書いているが、「それを1000兆円超の日本政府の借金返済に回せ」とは、なぜ言わないのだろうか。

6. 「夫婦という病」 岡田尊司著 河出書房新社 2016年1月30日

副題：「夫を愛せない妻たち」 帯の言葉：「なぜ一緒にいるの？」

私は最近、高齢者関係の本を読み続け、介護をめぐる家族という問題にも、目を向けるようになってきていた。そんなおりに、ふと本屋の店頭で、本書を

みつけた。本書で岡田氏は、家族の原点ともいうべき夫婦について、それを「夫婦という病」という視点から解析し、夫婦という単位も、劇的な変化の最中にあると書いている。伴侶に先立たれたり、名だけ夫婦で実態は同居人でしかない高齢者たちには、本書は無価値かもしれないが、これから結婚しようとしている若者たちには、是非、読んでもらいたい本である。ただし本書を読むと、結婚とその後の夫婦生活が怖くて、結婚に踏み出し切れなくなるかもしれない。やはり結婚は、失敗を怖れず、勢いでしかできないものかもしれない。ご心配なく。本書はそのような若者たちにも、結婚後の修復方法も教えている。高齢の読者にも、自らの夫婦生活を冷静に振り返り、その成功や失敗の原因を探ることができるという楽しみ方を用意している。

岡田氏は、「愛の形は一つではない。今日の状況は、人々の生き方が旧来の愛の形と合わなくなり、新しい愛の形を模索しているところだともいえる。それゆえ、永遠の愛とか、揺るぎない結婚という一つの愛の形にとらわれる必要はない。非婚、晩婚、離婚、再婚……。どれにもそれぞれの意味があり、どれがいいとか悪いとかいった問題ではない。大事なのは、あなたにとって最高の答えを見つけ出すことだ。あなたに合った、もっとも幸福な生き方や愛し方を実現してほしい」と書いている。しかしそのためには、自分自身の生き方を確立し、自分自身の性格を客観的に分析できる力量を持たねばならない。自分自身をしっかり内省できなければ、他人を理解することはできない。その意味では、失恋や挫折、成功体験などを積んだ上で、自分のタイプに合った伴侶を見つけることが大事なことだろう。岡田氏は、いろいろな人間パターンを紹介し、結婚をせず自由に生きるという現代の男女の生き方も推奨している。

岡田氏は、「母親と子どもを軸とする母系社会に回帰し、父親はその周囲を移動しながら、母親や子どもを経済的に支える。それによって、父親は子育ての負担を免れ、自由な暮らしを手に入れる。一方、母親も、夫の束縛から解放され、恋愛の自由を謳歌できる。が、同時に、母親と子どもが社会の基本単位であり、母系の家族を形成するので、家には祖母や叔母といった女手があり、子育てを支えてもらえやすい。付き合う相手が変わろうと、母親は常に家の中心にいたので、子どもは母親を失わずに済む」と書き、母系制家族の復活を予測している。

岡田氏はDVについて、「“司法モデル”という刑法的な視点があり、アメリカを中心に盛んとなり、日本にも輸入されてきた。もちろん、こうした視点で妻を守ることが必要なケースも少なくない。ただ、この司法モデルを、何でもかんでも適用すると困ったことになる。司法モデルは関係を修復するという点

では、むしろ阻害要因となる場合もあるからだ。“被害者”“加害者”という対立させた視点が入ることで、協力して問題解決に取り組むことが、かえって難しくなるのだ。“加害者”と言われ、一時は反省して我慢していても、“被害者”から“加害者”として責められ、反省を強いられ続けることに耐えられなくなり、また爆発してしまうという状況もよく見られる」と書いている。私は、これは夫婦関係だけに限られた視点ではなく、労使関係など、人間を二分して考えるすべての関係に当てはまるのではないかと思う。夫婦関係に限らず、人間には、「我慢・忍耐・妥協・歩み寄り」などという行為が必要不可欠だと思う。私は本書で、ニーチェとリルケ、フロイトなどの史上で高名な男性知識人達の間を華麗に遍歴し、それらの男性の人生を狂わせたという女性の存在を始めて知って驚いた。

以上



【中国経済最新統計】

	① 実質 GDP 増加率 (%)	② 工業付 加価値 増加率 (%)	③ 消費財 小売総 額増加 率(%)	④ 消費者 物価指 数上昇 率(%)	⑤ 都市固 定資産 投資増 加率 (%)	⑥ 貿易収 支 (億 _米)	⑦ 輸 出 増加率 (%)	⑧ 輸 入 増加率 (%)	⑨ 外国直 接投資 件数の 増加率 (%)	⑩ 外国直 接投資 金額増 加率 (%)	⑪ 貨幣供 給量増 加率 M2(%)	⑫ 人民元 貸出残 高増加 率(%)
2005年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
2009年	9.1	11.0	15.5	▲0.7	31.0	1961	▲15.9	▲11.3	▲14.9	▲16.9	27.6	31.7
2010年	10.3	15.7	18.4	3.3	24.5	1831	31.3	38.7	16.9	17.4	19.7	19.8
2011年	9.2	13.9	17.1	5.4	24.0	1549	20.3	24.9	1.1	9.7	13.6	14.3
2012年	7.7	10.0	14.3	2.7	20.7	2303	7.9	4.3	▲10.1	▲3.7	13.8	15.0
2013年	7.7	9.7	11.4	2.6	19.4	2590	7.8	7.2	▲8.6	5.3	13.6	14.1
2014年	7.4	8.3	12.0	2.0	15.2	3824	6.1	0.4	4.41	14.2	12.2	13.6
1月				2.5	19.8	319	10.5	10.8	-8.6	-4.5	13.2	14.3
2月				2.0		-230	-18.1	10.4	1.3	4.0	13.3	14.2
3月	7.4	8.8	12.2	2.4	17.3	77	-6.6	-11.3	6.1	-1.5	12.1	13.9
4月		8.7	11.9	1.8	16.6	185	0.8	0.7	0.5	3.4	13.2	13.7
5月		8.8	12.5	2.5	16.9	359	7.0	-1.7	8.4	-6.6	13.4	13.9
6月	7.5	9.2	12.4	2.3	17.9	316	7.2	5.5	10.3	0.2	14.7	14.0
7月		9.0	12.2	2.3	15.6	473	14.5	-1.5	14.0	-17.0	13.5	13.4
8月		6.9	11.9	2.0	13.3	498	9.4	-2.1	5.2	-14.0	12.8	13.3
9月	7.3	8.0	11.6	1.6	11.5	310	15.1	7.2	9.4	1.9	11.6	13.2
10月		7.7	11.5	1.6	13.9	454	11.6	4.6	8.7	1.3	12.1	13.2
11月		7.2	11.7	1.4	13.4	545	4.7	-6.7	-8.6	22.2	12.0	13.4
12月	7.3	7.9	11.9	1.5	12.6	496	9.5	-2.3	6.1	10.3	11.0	13.6
2015年	6.9	5.9	10.7	1.4	9.7	6024	-9.8	-14.4	11.0	0.8	11.9	15.0
1月				0.8		600	-3.3	-20.0	2.2	-1.1	10.6	14.3
2月				1.4		606	48.3	-20.8	49.8	0.1	11.1	14.7
3月	7.0	5.6	10.2	1.4	13.1	31	-15.0	-12.9	0.3	1.3	9.9	14.7
4月		5.9	10.0	1.5	9.6	341	-6.5	-16.4	2.9	10.2	9.6	14.4
5月		6.1	10.1	1.2	9.9	595	-2.4	-17.7	-14.0	8.1	10.6	14.3
6月	7.0	6.8	10.6	1.4	11.6	465	2.8	-6.3	4.6	1.1	10.2	14.4
7月		6.0	10.5	1.6	9.9	430	-8.4	-8.2	9.6	5.2	13.3	15.7
8月		6.1	10.8	2.0	9.1	602	-5.6	-13.9	23.9	20.9	13.3	15.7
9月	6.9	5.7	10.9	1.6	6.8	603	-3.8	-20.5	5.2	6.1	13.1	15.8
10月		5.6	11.0	1.3	9.3	616	-7.0	-19.0	2.5	2.9	13.5	15.6
11月		6.2	11.2	1.5	10.8	541	-7.2	-9.2	27.7	0.0	13.7	15.3
12月	6.8	5.9	11.1	1.6	6.8	594	-1.7	-7.6	17.2	-45.1	13.3	15.0
2016年												
1月			10.3	1.8	18.0	633	-11.5	-18.8	14.1	-2.1	14.0	15.2
2月			10.2	2.3		326	-25.4	-13.8	-11.3	-1.3	13.3	14.7
3月	6.7	6.8	10.5	2.3	11.2	299	11.2	-7.4	26.1	4.0	13.4	14.7
4月		6.0	10.1	2.3	10.1	456	-2.0	-10.5	21.4	2.9	12.8	14.4

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。

2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1月と2月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、（ ）内の数字は1月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。

3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の86%（2007年）を占めている。⑥—⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。

出所：①—⑤は国家统计局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。